

建築夜楽校 2009

テーマ：データ、プロセス、ローカリティ

ー設計プロセスから地域のアイデンティティを考える

主 旨：

建築設計の CAD 化が進んだ 1990 年代以降、設計技術の「情報化」が叫ばれ、コンセプトレベルではコンピュータ・アルゴリズムをはじめとする設計プロセスに関する議論が盛んに行われたが、実務レベルでの応用が難しいとされてきた。ところが近年、設計環境のグローバル化により、実務レベルで 3 次元 CAD、BIM の導入が盛んになされてきており、技術的な前提の変容に伴って設計プロセス論は再び転換期を迎えていると言える。

他方、社会学等で度々指摘されているように、地域社会の空洞化に伴う地域アイデンティティの喪失＝「郊外化」は著しく、風景の固有性はますます失われつつある。これらの変化は共に 90 年代以降の重要な社会的変化であることは認識されつつあるが、両者の関係を具体的に論じた建築学的な議論はあまり見られない。

そこで本企画では、「データ」「プロセス」「ローカリティ」をキーワードに、「情報化」を「郊外化」の原因として遠ざけるのではなく、情報化によってもたらされた知見を郊外化に対抗するためのコンセプトとして捉え直すことで、建築の新たな社会的役割について考える。

第 1 夜：データとプロセスの関係について考える

日 時：10 月 1 日（木）18:00～20:30（開場 17:30）

パネリスト：中山英之（中山英之設計事務所主宰）

小嶋一浩（CAt パートナー・東京理科大学教授）

山梨知彦（日建設計設計部門副代表）

コメンテータ：難波和彦（東京大学教授・難波和彦＋界工作舎代表取締役）

江渡浩一郎（産業技術総合研究所研究員）

モデレータ：藤村龍至（藤村龍至建築設計事務所代表・建築文化事業委員）

濱野智史（日本技芸リサーチャー）

第 2 夜：プロセスとローカリティの関係について考える

日 時：10 月 8 日（木）18:00～20:30（開場 17:30）

パネリスト：五十嵐淳（五十嵐淳建築設計代表・北海道）

家成俊勝（dot architects 共同主宰・大阪）

井手健一郎（rhythmdesign 主宰・福岡）

コメンテータ：古谷誠章（早稲田大学教授・NASCA 主宰）

鈴木謙介（関西学院大学社会学部助教）

モデレータ：藤村龍至（前掲）

濱野智史（前掲）

会 場：建築会館ホール（東京都港区芝 5-26-20）

定 員：300 名（当日先着順）

参加費：無料

問合せ：日本建築学会事務局出版・普及事業グループ 鎌田

TEL 03-3456-2056 E-mail kamata@aij.or.jp